
第33回全国公民館セミナー

開催要項

1. テーマ

**これからの公民館
—アフターコロナの公民館—**

2. 定員：80人（定員以上に達した場合は抽選）

※今後の新型コロナウイルスの感染状況により、政府や東京都などの対応を踏まえ、開催方法が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

3. 会期：令和4年1月26日（水）～28日（金）

4. 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052

東京都渋谷区代々木神園町3-1

電話：03-3467-7201

5. 主催：公益社団法人 全国公民館連合会

6. この研修の目的

いま全国の公民館は、コロナによって大きく影響を受けています。今回のセミナーでは、公民館の現状やアフターコロナの新しい公民館像を探り、公民館はこれからどうあるべきかなどを検討します。

7. プログラム（予定）

※内容は、予告なく変更することがあります。最新情報は、全国公民館連合会のホームページをご確認ください。

1 / 2 6 （1日目）

（1）講演（13：15～16：15）

「誰しものが、特別な物語を生きるために」

市民参加型映画と様々な学びのエッジ（境界線）から」

栗山 宗大（脚本家）

日本初の市民参加型映画の実践者として、また脚本家として長年に渡り、日本の地域社会を見つめてきた栗山宗大氏とともに、AC時代（アフターコロナ）に求められる学びの物語を探究・対話します。

地域住民の物語を紡ぐことの意味、映画共創の現場で垣間見た地域の葛藤などを映像とともにふりかえり、また栗山氏の親交のある様々な学びの実践者（社会教育・探究教育・キャリア教育・福祉実践者）から、アフターコロナの新しい「学び」の可能性について考察します。

■栗山 宗大(くりやま むねひろ)

脚本家

映画監督・林弘樹らと設立した FireWorks は、日本初となる「市民参加型映画事業」のモデルをデザインし、日経地域情報化大賞MJ 賞や地域づくり総務大臣表彰を受賞。自治体・企業のコンテンツプラン、映像による人材育成プログラム、市民向け映画ワークショップ事業などを独自の物語論によって構築。岐阜県恵那市で「市民総参加」によって制作された映画「ふるさとがえり」が、全国各地で上映されつづけている。

（2）施策説明（16：30～17：15）

「文部科学省の公民館をめぐる動き」

根本 幸枝（文部科学省総合教育政策局社会教育振興総括官）

文部科学省の公民館施策にかかわる最新の動向について、お話いただきます。

(3) 講義 (9:00~10:45)

「公民館の空間をデザインする」

浅野 平八 (日本大学生産学部建築工学科元教授)

公民館にはロビーや、ホールなどさまざまな部屋や空間があります。建築学的な見地から、公民館の持つさまざまな部屋、空間が持つ意味、そして公民館が果たしている役割から、どのような空間が望ましいかなどについて語ります。

■浅野 平八(あさの へいはち) 日本大学生産学部建築工学科元教授

1945年生まれ。日本大学大学院を経て工学博士。日本公民館学会副会長。『公民館のデザイン』（エイデル研究所刊）編集委員長。小金井市・会津美里町・近江八幡市・由布市の公民館複合施設建設にかかわる。専門は建築計画で、特に公民館建築に関する多くの原著論文や著書があるほか、住宅産業研修財団にて「大工育成塾」企画運営委員、また伝統木造建築の技術・技能の次世代を担う人材の育成を目的とした「大工志塾」塾長を務める。『月刊公民館』『公民館のデザイン』特集（平成26年12月号）にも執筆。

(4) 講義 (11:00~12:00)

「“アフターコロナ”“ウィズコロナ”時代の社会教育」

小山 竜司 (神奈川大学法学部特任教授)

“アフターコロナ”“ウィズコロナ”時代に社会教育、そして公民館のありかたはどうなっていくのか、考えます。

■小山 竜司(こやま りゅうじ) 神奈川大学法学部特任教授

1989年文部省に入省。31年間の公務員生活の後に2020年文部科学省を早期退職。現在は神奈川大学法学部特任教授。また、桜美林大学や名古屋大学でも、講義を担当。「全体の奉仕者」から一私人となって「自由の翼」を満喫中!?

『月刊公民館』では、2016年4月号から2019年3月号まで「社会教育、温故知新!」を36回連載。2019年7月号からは「令和の新・生涯学習考」を連載中。専門は教育行政学、教育法、高等教育政策論。

(5) シンポジウム (13:00~17:30) 「これからの公民館運営を考える」

コーディネーター：小山 竜司（神奈川大学法学部特任教授）

コロナ禍にあって、各地の公民館ではどのように対応し、どのような工夫をしてコロナに立ち向かったのか、現場の職員の方たちに、熱く語っていただきます。

ゲスト：宮尾 有（熊本市花園公民館主事）

野嶋 京登（浜松市富塚協働センター主任）

熱田 有紀（広島市中央公民館社会教育主事）

特別ゲスト：出野 紀子（コミュニティ・デザイナー）

■出野 紀子（での のりこ）

コミュニティ・デザイナー

東京都出身。2001年より英国ロンドンへ渡り、テレビ番組制作の仕事に携わる。2011年にstudio-L参画した後は、島根県海士町の自主運営テレビ局「あま・コミュニティ・チャンネル」で放送局の運営に携わり、住民による番組づくりをサポート。近年では、秋田市で高齢者の実態を調査し内容を展覧会「2240歳スタイル」で紹介し、年の差がある友人をつくり健康長寿と地域福祉の充実を目指す「年の差フレンズ部」をつくった。2017年に、Co-Minkan普及実行委員会を3名で立ち上げ、全国に「つどう・まなぶ・むすぶ」ことができる私設公民館を普及している。コロナ禍になってからは、藤沢市で家にいながら友人をつくる「ステイホームダイアリー」をつくり、実践している。

■宮尾 有（みやお ゆう）

熊本市花園公民館社会教育主事

1968年熊本県生まれ。熊本大学教育学部卒業、福岡教育大学大学院修了。美術教育を専攻。2001年熊本県に中学校美術教諭として採用される。その後、異動により平成27年から社会教育主事として熊本市立秋津公民館に出向。社会教育を担当。

平成28年熊本地震の折、公民館が拠点避難所となり、約4か月間、避難所の運営に携わった。その時の経験が社会教育の学び直しとなり、「生きる」ことは「学ぶ」ことということを強く意識するようになった。現在は、熊本市花園公民館で「花園Voisins（ヴォワザン）プロジェクト」など、「コロナ禍でも学びを止めない」を合言葉に「つなぐ」、「まなぶ」、「むすぶ」を大事にする取り組みに励んでいる。

1985年浜松市生まれ。大学卒業後、化粧品メーカー営業職を経て、浜松市役所へ入庁。税務・企画政策に従事後、富塚協働センターへ人事異動。

特色ある事業として、地域住民とともに浜松版パーラー公民館「あおぞら協働センター」を開催し、幅広い世代間交流の提供や顔の見える関係づくりの一翼を担っている。また、夏祭りを地域住民とともに新たな形で復活させ、以前の5倍以上来場者が訪れるイベントとなった。そのほか、ごみ拾いボランティアの活動に感銘を受け、ごみ・環境・SDGsを考える「ごみゼロフェスタ」を初めて開催。若者の地域づくりへの視点が重要と考え、若者ボランティア「コミュニティ・アシスタント」制度を確立し、各種事業を協働で進めている。

「親切・丁寧・笑顔」で地域に寄り添い、親しみやすい職員を心がけている。地域コミュニティの原点は、楽しい時間をみんなで共有すること！！

平成元年に広島市の外郭団体に採用され、広島市青少年センターや勤労青少年ホームなどの若者の施設を経て、公民館に配属される。

令和2年コロナ感染者が増えるたびに、公民館の利用が制限され主催事業の中止が余儀なくされた。そんな中で「何かしなければ…」「どうしたらできるのか」「オンラインでやってみる？」と広島市公民館職員有志と、リモート公民館ひろしま（通称：リモコひろしま）を立ち上げた。手探りの中、広島市内の複数の公民館や市民グループと連携して様々なオンライン事業を企画・実践する中で、ウイズコロナ・アフターコロナでの新しい公民館事業の在り方として活用できるリモート事業にチャレンジしている。



特別企画（１９：００～２１：００）【自由参加】

「ナトコ映画を見る夕べ」

案内：長澤 成次（放送大学千葉学習センター所長）

ナトコ映画を実際に見てみませんか？

当時の公民館職員は、自転車や車にこのナトコ映写機を積んで、各地をまわって上映会をしていました。当時、どのような映画を上映していたのか、当時のままの映写機とフィルムを使って、みんなで鑑賞しましょう。

※当時のままのナトコ映写機で、生のナトコ映画を観ることができる、めったにない機会です。

※映写機が当時のままのため、暗くないときれいに上映できません。なので、この時間帯のプログラムとなっております。



1 / 2 8（3日目）

（6）講義（９：００～１０：３０）

「ナトコ映画“公民館”がおもしろい！」

長澤 成次（放送大学千葉学習センター所長）

1950年につくられたナトコ映画「公民館」など、古い公民館を描いた映画をとおして、当時の人々の公民館に込められた思いや原点について、語ります。

■長澤 成次（ながさわ せいじ） **放送大学千葉学習センター所長**

1951年生まれ。千葉大学教育学部・名古屋大学大学院教育学研究科博士課程を経て千葉大学教育学部教授。日本社会教育学会会長、「月刊社会教育」編集長などを歴任。千葉大学名誉教授、放送大学千葉学習センター所長。専門は社会教育論。

(7) 講演 (10:40~12:10)

「公務員として公民館職員が イキイキ働くための作法」

堤 直規 (キャリアコンサルタント、小金井市福祉保健部新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

公民館職員は公務員。正職でも臨時でも嘱託であっても、住民にとっては公務員には変わりありません。公務員としてどういう働き方が求められるか、公務員のこれからの働き方、イキイキ働くために必要なことなどについて、お話をうかがいます。

**■堤 直規 (つつみ なおただ) キャリアコンサルタント、
小金井市福祉保健部新型コロナウイルス感染症対策担当課長**

1971 年生まれ。東京学芸大学教育学部卒業、同大学院社会教育専攻修了。2001 年小金井市入所。前職は I T 関係。情報システム係、国保税徴収担当、企画政策係長、納税課長、行政経営担当課長を経て、2021 年 10/1 から現職。2018 年にキャリアコンサルタントとして登録。

主な著書に『公務員 1 年目の教科書』、『公務員ホンネの仕事術』、『公務員の「異動」の教科書』、『公務員の「出世」の作法』などがある。その他、さまざまな雑誌などにも連載・執筆多数。

8. 参加資格

- (1) 各都道府県公連から推薦を受けた者
- (2) その他、全国公民館連合会会長が認めた者

9. 参加費 無料

10. 参加方法

各都道府県公連から推薦をいただいた方のなかから、参加者を決定します。

※推薦書の締め切りは各都道府県公連ごとに異なりますが、全国公民館連合会へは必ず12月17日（金）までに通知をお願いいたします。

※全国公民館連合会への直接の受付は、原則として行っておりません。

※今後の状況によっては、開催方法が変更になる可能性があります。開催方法については、遅くとも年内には決定し、ホームページ等でお知らせいたします。

※なお、今回のセミナーの講義は、編集したうえで、YouTube にて動画配信をいたします。参加できない方は、そちらでご視聴ください。なお、配信日については後日ホームページでお知らせいたします。

11. スケジュール

1日目

12:00～	受付開始
13:00～13:10	開講式
13:15～16:15	講演
16:30～17:15	施策説明
17:15～17:45	オリエンテーション

2日目

8：50～ 9：00 オリエンテーション
9：00～10：45 講義
11：00～12：00 講義
12：00～13：00 昼食
13：00～17：30 シンポジウム
19：00～21：00 特別企画（自由参加）

3日目

8：50～ 9：00 オリエンテーション
9：00～10：30 講義
10：40～12：10 講演
12：10～12：20 閉講式

12. 参加にあたって

●会場となるオリンピックセンターから●

オリンピックセンターへの入所時に、センター職員によるサーモグラフィーによる体調検査があります。体温が37.5度以上の方、体調が優れない方、検温を拒否する方の入所はお断りしております。体調検査に時間がかかることがございますので、時間に余裕をもってお越しください。

施設内では、できればフィルター性能の高い不織布マスクを、鼻にフィットさせしっかりとした着用をしてのご利用をお願いいたします。食堂等への移動の間もマスクを着用ください。マスクを着用していない方のご利用をお断りする場合があります。

●全国公民館連合会から●

(1) 必須ではありませんが、コロナワクチンの接種をなるべく済ませてから、参加をお願いいたします。

(2) 「3密」を避け、「人と人との距離を確保」、「マスク着用」、「手洗い」、「消毒」をはじめとした感染対策をしながら研修会を実施いたします。

(3) 研修期間中は、オリンピックセンター（以下、オリセン）の利用上の決まりを、きちんと守ってくださるようお願いいたします。

(4) 宿泊希望者は、セミナー期間中はオリセン内にこちらで確保いたします(無料)。ご希望のかたは、参加者推薦書にてお申し込みください。ただし研修施設のため、一般のホテルのような設備やサービスはありませんので、ご了承ください。部屋はD棟(個室)になります。※なお、宿泊は必ずしもオリセンでなくてもかまいませんが、ご自身で宿泊を別取る場合、ホテルの斡旋や費用補助はございません。

(5) 期間中の食事について

- ・**昼食**は、オリセンの食堂(カフェテリアふじ)をご利用ください(コロナ禍のため、他の食堂はお休み中です)。
- ・**朝食、夕食**をカフェテリアふじでお召し上がりになる場合、事前予約制となっております。ご希望の方は、申込書にてお申し込みください。代金2,000円(朝2回、夕食2回分、バラでの申し込みは不可)となります。
- ・オリセン内にコンビニはありますが、営業時間は8時30分～18時です。

(6) 原則、全日程の参加をお願いしております。

(7) 会場となるオリセンの詳細や概要、アクセス方法などは、国立オリンピック記念青少年総合センターホームページ(<https://nyc.niye.go.jp/>)にてご案内しておりますので、ご確認ください。

(8) その他、持ち物などの詳しいご案内については、参加者宛に決定後、お知らせいたします。

(9) 何かご相談、ご不明な点がございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

13. お問い合わせ

公益社団法人全国公民館連合会 担当：村上 英己(むらかみ ひでき)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-8

TEL：03-3501-9666/FAX：03-3501-3481

E-mail：murakami@kominkan.or.jp